

## <対策のポイント>

森林の多面的機能の発揮を図るとともに山村地域のコミュニティを維持・活性化させるため、**地域住民等による森林の保全管理活動等の取組を支援**します。

## <政策目標>

- 各支援メニューごとに設定された森林の多面的機能の発揮に関する目標を達成した活動組織の割合（8割 [令和3年度まで]）
- 自主的に横展開を図る取組を行うなど地域コミュニティの維持・活性化につながる活動を行った活動組織の割合を毎年度増加

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

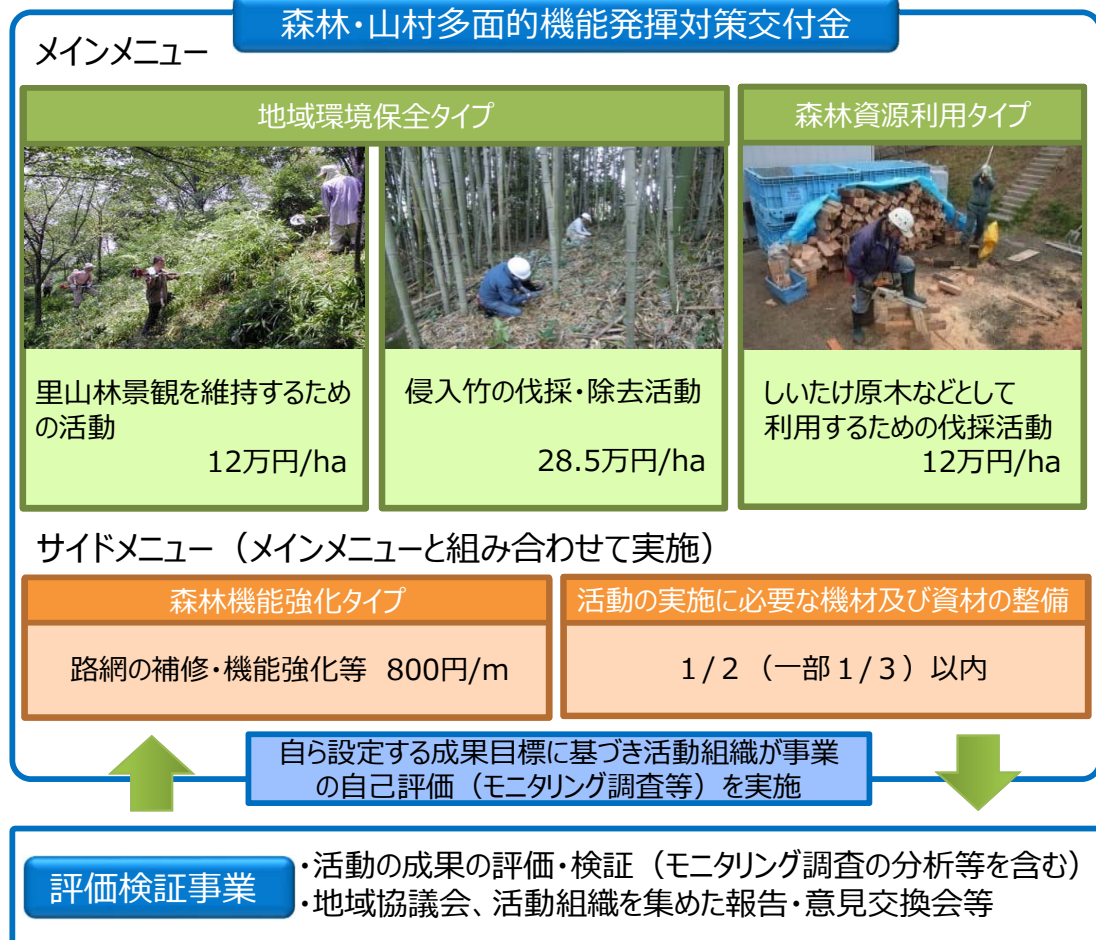
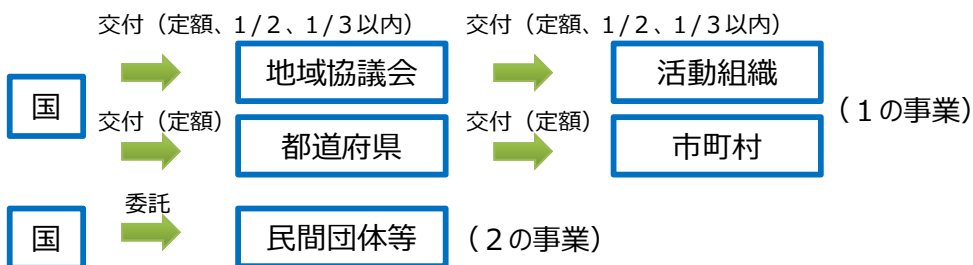
### 1. 森林・山村多面的機能発揮対策交付金 1,344 (1,413) 百万円

- 地域住民、森林所有者等地域の実情に応じた3名以上で構成する**活動組織**が実施する**里山林の保全、森林資源の利活用等の取組を支援**します。
- **森林経営計画が策定されていない0.1ha以上の森林を対象に、1活動組織当たり500万円/年（国からの交付額）を上限として支援**します。採択に当たっては、**3年間の活動計画等**が必要です。
- **地方公共団体の支援のある活動**や地域コミュニティの活性化を図るため**中山間地域における農地等の維持保全にも資する取組、有人国境離島地域で計画された活動等**を行う場合は、**優先的に支援**します。

### 2. 森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業 9 (12) 百万円

- 森林・山村多面的機能発揮対策交付金による**活動の成果を評価・検証**します。
- 地域協議会、活動組織を集めた**活動内容の報告・意見交換会等**を開催します。

## <事業の流れ>



## <対策のポイント>

地方の活性化に向けた「関係人口」の創出・拡大のため、**森林空間を多様な分野で活用する「森林サービス産業」の創出・推進**の取組や、「日本美しい森 お薦め国有林」の**重点的な環境整備**を行うとともに、緑化や森林・林業に対する国民理解の醸成を図るため、**全国規模の緑化行事の開催を支援**します。

## <政策目標>

- 新たに「森林サービス産業」の創出・推進に向けて取り組む地域数（30地域以上 [令和4年度まで]）
- 重点整備された「日本美しい森 お薦め国有林（レクリエーションの森）」の利用者数（50%以上増 [平成29～令和2年度まで]）

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業 55（一）百万円

- 健康、観光、教育等の多様な分野で森林空間を活用して、新たな雇用と収入機会を生み出す「森林サービス産業」の創出・推進の取組を支援します。
  - ① 「森林サービス産業」モデル事業の実施
  - ② 「森林サービス産業」創出に向けた課題解決型研修会の実施
  - ③ 課題共有・解決のための効果分析・情報発信

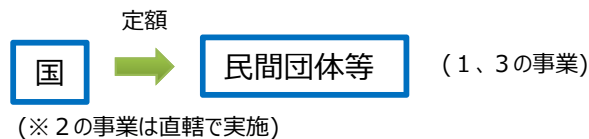
### 2. 森林景観を活かした観光資源の整備事業 34（53）百万円

- 国有林のレクリエーションの森のうち、特に観光資源としての活用の推進が期待される**93箇所**を「日本美しい森 お薦め国有林」として選定しています。
- 「日本美しい森 お薦め国有林」において、利用者の増加を目的に、多言語による情報発信や歩道の整備などの、**重点的な環境整備**に取り組めます。

### 3. 全国規模の緑化運動の促進 32（32）百万円

- **国土緑化運動の中心**的な役割を果たす**全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の開催**を通じて、緑化や森林・林業に対する国民の理解醸成を図ります。
  - ① 全国植樹祭、全国育樹祭、みどりの感謝祭等の全国規模の緑化行事の開催
  - ② 全国規模の緑化行事を効果的に行うための関連イベント等の実施

## <事業の流れ>



#### 「森林サービス産業」創出・推進に向けた活動支援事業

「森林サービス産業」の創出・推進に向けた取組の支援

#### モデル事業の実施

**【内容】**  
民間企業等と地域協議会等が、「企業の健康経営」による森林空間利用を核とした「森林サービス産業」の創出・推進に向けた課題解決に取り組むための**モデル事業の実施**

#### 森林景観を活かした観光資源の整備事業

観光資源としての魅力向上に向けた取組

施設整備等の環境整備  
(案内看板の多言語化、歩道の整備等)

案内看板の多言語化  
(日本語、英語、韓国語・中国語 (Uni-Voiceコード))

スマートフォンでコードを読み込んで利用

歩道の整備 (階段の設置)

#### 全国規模の緑化運動の促進

全国植樹祭      全国育樹祭      緑の少年団交流会      みどりの感謝祭

→ 国土緑化運動による国民理解の醸成

【お問い合わせ先】 (1、3の事業) 林野庁森林利用課 (03-3502-0048)  
(2の事業) 林野庁経営企画課 (03-6744-2323)

## <対策のポイント>

国土強靱化に向けて、激甚化する災害に対する山地防災力強化のため、**荒廃山地の復旧・予防対策、重点的な機能強化・老朽化対策、総合的な流木対策の強化等の治山対策を推進**します。

## <政策目標>

周辺の森林の山地災害防止機能等が適切に発揮された集落の増加（約56.2千集落〔平成30年度〕→約58.6千集落〔令和5年度〕）

## <事業の内容>

### 1. 荒廃山地の復旧・予防対策の推進

激甚化する山地災害への対応として、荒廃山地の復旧・予防対策を推進します。また、農山漁村地域整備交付金において、効率的な防災・減災対策推進のため、**一体的な復旧・予防対策、警戒避難体制整備等のソフト対策を一定のエリア内で総合的に実施**します。  
〔山地防災力強化総合対策事業(拡充)〕

### 2. 既存施設を有効活用した効率的な事前防災・減災対策の推進

集中豪雨等により山地災害の発生が特に懸念される山地災害危険地区において、**重点的な治山施設の機能強化・老朽化対策を実施**し、効率的に事前防災・減災対策を推進します。  
〔緊急機能強化・老朽化対策事業(新規)〕

### 3. 緊急的な予防治山対策による避難路の保全

山地災害の発生危険度が高い山地災害危険地区において、**避難路を保全対象として緊急的な予防治山対策を実施**し、災害発生時の集落等の孤立化を防止します。  
〔緊急予防治山事業(拡充)〕

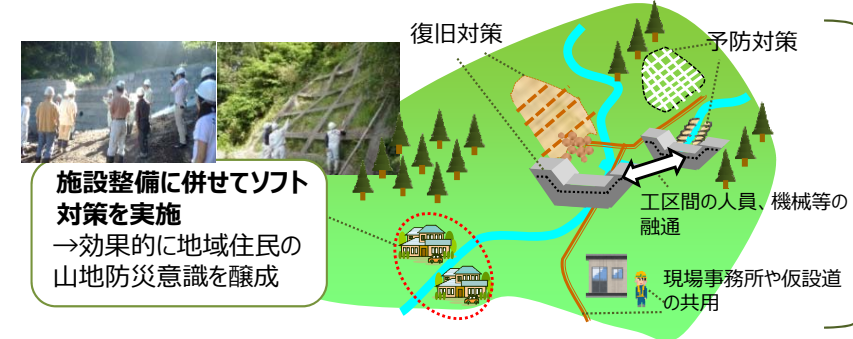
## <事業の流れ>



※国有林や、民有林のうち大規模な山腹崩壊地等については、国による直轄事業を実施

## <事業イメージ>

○復旧・予防対策、警戒避難体制整備等のソフト対策を総合的に実施



**復旧・予防対策を一体的に実施**  
→工期の短縮  
→間接費の縮減

○既存施設を有効活用した重点的な事前防災・減災対策の推進



山地災害危険地区 (危険度a1-a2) において、**補助事業により重点的に機能強化・老朽化対策を実施** (事業対象箇所を重点化)

○緊急的な予防治山対策による避難路の保全



避難路を保全対象とした緊急予防治山事業を実施

## <対策のポイント>

花粉症対策苗木への植替の支援、花粉飛散防止剤の実用化に向けた林地実証試験、スギ・ヒノキの雄花着花状況調査、スギ雄花着花特性の高精度検査手法の開発を進めるとともに、これらの成果の普及啓発等を一体的に実施し、総合的に花粉発生源対策を進めます。

## <政策目標>

スギ苗木の年間生産量に占める花粉症対策に資する苗木の割合の増加 (約4割 [平成29年度] → 約7割 [令和14年度まで])

## <事業の内容>

## <事業イメージ>

### 1. 総合的な花粉発生源対策の強化及び普及 10 (10) 百万円

- 国や県等が取り組む花粉発生源対策に係る調査及び技術開発の成果の普及等を支援します。

### 2. 花粉症対策苗木への転換の促進 62 (53) 百万円

- ① 花粉症対策苗木への植替促進  
花粉発生源となっているスギ林等の植替やコンテナ苗植栽結果の検証等を促進するため、加工業者等が行う森林所有者への働きかけ等を支援します。

- ② 花粉症対策品種の円滑な生産支援  
スギ雄花着花特性を短期間・高精度で検査する手法の開発及び少花粉ヒノキのミニチュア採種園の管理に係る技術的指導を支援します。

### 3. スギ花粉飛散防止剤の実用化試験 29 (29) 百万円

- 花粉飛散防止剤の実用化を図るため、空中散布の基本技術の確立、低コスト・高品質な大量培養技術の開発等を支援します。

### 4. スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進 15 (15) 百万円

- スギ雄花着花状況等の調査、ヒノキ雄花の観測精度向上のための調査手法の開発を支援します。

## <事業の流れ>



#### 花粉症対策苗木への転換の促進

- ・加工業者等が行う森林所有者への花粉症対策苗木への植替えの働きかけ



- ・スギ雄花着花特性を短期間・高精度で検査する手法の開発
- ・少花粉ヒノキミニチュア採種園の管理技術の指導

#### スギ花粉飛散防止剤の実用化試験

- ・スギ花粉飛散防止剤の空中散布技術の開発
- ・低コスト・高品質な大量培養技術の開発



<花粉飛散防止剤により枯死した雄花>

#### スギ・ヒノキ雄花の着花量調査の推進

- ・スギ雄花着花状況等の調査
- ・ヒノキ雄花観測技術の開発、試行的な着花状況調査の実施
- ・ドローンの活用等による効率的かつ高精度な着花量推定手法の開発



<雄花着花量調査>

取組成果等情報の集約、一体的に普及啓発

### 総合的な花粉発生源対策の強化及び普及

- ・上記の取組状況や調査成果、特色ある地域の植替促進取組等の情報収集及び発信

## <対策のポイント>

森林病害虫等による被害対策として必要な取組を実施します。ドローンを活用した効果的な被害防止対策の実施・検証を行うとともに、引き続き、東北地方等において、農林水産大臣の命令による防除対策等を推進します。

## <政策目標>

保全すべき松林の被害率を全国的に1%未満の「微害」に抑制 [令和2年度まで]

## <事業の内容>

### 1. 森林害虫駆除事業委託 194 (199) 百万円

○ 東北地方における松くい虫被害の拡大の未然防止、佐渡におけるトキの営巣木等の保全を図るため、農林水産大臣の駆除命令による伐倒駆除等や、薬剤防除自然環境等影響調査等を実施します。

### 2. 森林病害虫等防除損失補償金 2 (2) 百万円

○ 農林水産大臣の命令を受けて伐倒を行うことにより通常生ずべき損失額に相当する金額及び薬剤による防除又ははく皮、焼却の措置を行うのに通常要すべき費用に相当する金額等を補償します。

### 3. 森林病害虫等防除事業費補助金 501 (515) 百万円

① 被害拡大地域対策事業 (松くい虫防除)

従来被害がなかった地域で新たな被害が発生している高緯度・高標高地域等における松くい虫防除対策を実施します。

② 環境に配慮した松林保全対策事業

薬剤の樹幹注入による予防措置等、環境に配慮した防除対策を実施します。

③ 政令指定病害虫等防除事業

せん孔虫類、食葉性害虫、のねずみ等による被害のまん延を防止するための防除対策並びにナラ枯れ被害対策の防除措置を実施します。

### 4. 森林病害虫等被害対策強化・促進事業 18 (-) 百万円

① ドローンによる被害木の探査

被害先端地の被害木の見逃しを防止し駆除を徹底するため、複数の波長帯を観測できるカメラを備えたドローンを用いて松くい虫被害木の把握・判定を行います。

② ドローンによるきめ細かな薬剤散布の実証

薬剤散布の効果を高めるため、きめ細かな散布技術の確立に向けドローンを用いた散布方法の実証、地上散布とのコストの比較検証等を行います。

## <事業イメージ>

### 予防



薬剤の地上散布

・ 薬剤散布 (地上・空中散布) はマツノザイセンチュウを媒介するマツノマダラカミキリ成虫を直接殺虫するとともに、薬剤が染込んだマツの枝をかじった成虫も殺虫します。  
・ マツ樹体内に侵入するマツノザイセンチュウが増殖できないように樹幹に薬剤を注入します。



薬剤のヘリ空中散布



樹幹への薬剤注入

### 駆除

・ 被害木を伐倒し、くん蒸・破碎・焼却等によって、被害木に生息しているマツノマダラカミキリ幼虫が成虫になって脱出する前に駆除します。



くん蒸処理



破碎処理



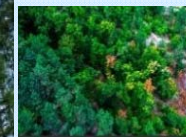
焼却処理

効果的な被害防止対策に活用

「ドローン」を活用し、①上空からの被害木探査、②保全松林等における薬剤散布の効果を高めるための散布方法の検証を行います。



空中探査(イメージ)



薬剤散布(イメージ)

## <事業の流れ>

